

2018年度 愛知製鋼 入社式を挙行

愛知製鋼株式会社(本社:愛知県東海市、代表取締役社長:藤岡高広)は、4月2日(月)、弊社本館の大会議室において「2018年度 入社式」を執り行い、新入社員 109 名と役員、労働組合代表など関係者約 300 人が出席しました。

式典前に、新入社員への歓迎の思いを込め、当社テレビCM出演中の一輪車世界チャンピオンである佐藤彩香さん、当社所属のプロゴルファーである野澤真央さん、そして海外事業体 8社からのビデオレターが放映され、和やかなムードで式典が始まりました。

今年の上社式は、**当社のキーワードである「変わる」**に相応しい、これまでにない新たな取り組みを実施しました。具体的には、社長の藤岡が新入社員への歓迎と激励メッセージを述べた後、下記を実施し、新入社員に社員としての自覚と責任、希望を持ってもらうとともに、自分の意見を積極的に発言することで当事者意識を醸成する絶好の機会としました。

- ① **社長と新入社員の対話形式による双方向コミュニケーション**を図ることで、何事も最後までやり抜く意思を持つ大切さを学ぶ。
- ② 当社の重要な価値観・行動規範である「Aichi Way」について、**新入社員がそれぞれの考えを発言**し、創業者 豊田喜一郎氏の「高い志」を体感する。
- ③ 式典後に、**新入社員が両親に宛てて、写真と感謝の手紙を送付**し、「感謝と尊重」を大切にする当社社員としての第一歩を踏み出す。
- ④ **入社5年目までの若手社員全員が参加**し、初心に帰ることで、改めて社員としての自覚と責任を持ってもらう。

<藤岡社長メッセージ要旨>

新入社員の皆さんが、この愛知製鋼を選ばれたことに感謝するとともに、本日から当社で、社会人としての第一歩を踏み出す皆さんの新しい門出を心からお祝い申し上げます。

現在、大口需要家の自動車業界では、100年に一度の大転換期を迎え、次世代車の普及が大きく加速しています。長期的視点で見ると、特殊鋼条鋼の需要が減少する一方で、当社の高い技術を活かした新たなビジネスチャンスも到来しています。当社がこれからも生き残っていくために、環境の変化に柔軟に対応しながら、既存ビジネスの発想転換でさらなる需要開拓をしていくとともに、新ビジネスを着実に成長させることで、来るべきスマート社会の共創に取り組んでいきます。

本日、皆さんからご自身の経験をもとに発言していただいた内容にもあったように、「**I Will**」の**当事者意識をもって、何事も最後までやり抜く意思を持って取り組む**ことが非常に重要です。来るべきパラダイムチェンジに確実に対応するためには、**振り子を大きく振って**、広い視点を持ち、「**現地現物**」で考え行動することで、今まで考えていた以上のことが必ず見えてきます。そして、「**自分が変わる、まわりを変える**」ということに本気で取り組み、「高い志」を持って新しいことに積極的にチャレンジして行ってほしいと思います。

当社は昨年4月以降、カンパニー制導入にはじまり、次世代のスマート社会を実現するモノづくりの推進、そして今年3月の新本館の完全竣工など、「**変わる**」を**体現する取り組み**を推進しています。New AICHI STEEL 実現に向け、皆さん一人ひとりがイキイキ、ワクワク働き、そして周りを巻き込んで、会社を変えていく主役になってくれることを期待しています。

最後に、愛知製鋼の社員として新たな一歩を踏み出した皆さんが、希望に満ちた今の気持ちを忘れず、豊かな発想と粘り強い行動で、一つひとつの仕事に愚直に取り組む、将来の愛知製鋼を担う頼もしい人に成長していただくことを心より祈念し、私の挨拶いたします。



新入社員の決意に耳を傾ける藤岡社長(写真左)

以上